【スポット市場価格】

・エリアプライス最高値 北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州エリア：32.87円/kWh（18時半～19時）

5月2日(月)受渡分 各社提出データ

(単位：GWh)	北海道電力	東北電力	東京電力 エナジー パートナー	中部電力 ミライズ	JERA	北陸電力	関西電力	中国電力	四国電力	九州電力
①売り入札量(※1) = a-b-c	10.6	20.2	4.4	11.4	119.2	0.0	56.8	22.5	10.1	39.0
売り入札総量 a	18.7	42.0	28.1	42.2	119.2	22.2	58.4	22.6	18.0	97.3
GB高値買い入札量 b	7.4	5.4	19.6	24.4	0.0	11.9	0.0	0.0	0.8	42.3
間接オークション等売り入札量(※2) c	0.7	16.3	4.1	6.4	0.0	10.4	1.6	0.1	7.1	16.0
②実質買い約定量(GB及び間接オ以外の買い) = a-b-c	4.1	11.8	4.2	11.2	35.3	11.7	12.9	0.3	0.7	0.3
買い約定量 a	12.4	35.2	31.8	36.4	35.3	25.7	23.4	12.3	7.7	51.4
GB買い約定量 b	7.4	11.0	23.5	24.6	0.0	11.9	0.0	1.5	0.8	47.4
間接オークション買い約定量 c	0.9	12.4	4.1	0.6	0.0	2.1	10.6	10.5	6.2	3.6
③供給力(設備容量から出力停止等を控除もの)	93.2	217.3	571.2	257.2	617.8	101.9	328.1	176.3	92.9	266.9
出力停止等	109.0	260.6	46.8	0.0	941.6	93.9	347.5	134.7	33.7	174.8
④自社小売需要等 = a+b+c	63.9	188.4	503.6	219.1	477.0	74.1	250.1	124.6	65.1	205.6
需要見込み(自社小売分) a	58.7	164.9	412.5	201.1	0.0	63.0	212.5	109.8	53.0	172.2
需要見込み(他社卸分) b	5.2	22.5	83.5	18.1	477.0	11.2	37.6	8.8	8.2	24.8
需要(揚水動力等) c	0.0	1.0	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	3.9	8.6
⑤出力制約	18.7	8.4	62.9	24.7	21.7	27.7	19.0	28.6	17.3	20.5
⑥予備力	0.0	0.2	2.0	2.0	0.0	0.0	2.1	1.1	0.5	1.7
⑦入札可能量(供給力-自社小売需要等-出力制約-予備率) =③-④-⑤-⑥	10.6	20.2	2.7	11.4	119.2	0.0	56.8	22.0	9.9	39.0
⑧入札可能量と売り入札量の差 = ⑦-①	0.0	0.0	-1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.5	-0.2	0.0
需要見込み(自社小売分 スポット時点) A	58.70	164.92	412.50	201.09	-(対象外)	62.97	212.48	109.82	53.01	172.15
需要見込み(自社小売分 前日17時時点) B	58.66	165.25	391.94	201.97	-(対象外)	62.78	212.47	108.88	53.01	172.00
需要見込み(自社小売分 GC時点) C	57.81	165.82	394.47	202.47	-(対象外)	62.70	212.47	104.24	52.83	170.75
需要実績(自社小売分 速報値) D	57.98	154.61	400.29	201.97	-(対象外)	60.71	223.32	105.12	51.99	159.41
乖離率(%) スポット時点見込み↔実績(速報値) =(A-D)/D	1.2%	6.7%	3.1%	-0.4%	-(対象外)	3.7%	-4.9%	4.5%	2.0%	8.0%
乖離率(%) GC時点見込み↔実績(速報値) =(C-D)/D	-0.3%	7.3%	-1.5%	0.3%	-(対象外)	3.3%	-4.9%	-0.8%	1.6%	7.1%

※1 売り入札量：既存契約等の特定の売り先が決まっているもの(グロス・ビディングの高値買い戻し分、間接オークションの売り入札分、先渡市場やBL市場の既約定分等)を控除したもの

※2 間接オークション等売り入札量：間接オークション売り入札量に加え、BL市場、先渡市場での取引を行っている場合には、その約定分が含まれる。

※3 本表では、日次での諸元の合計値から入札可能量を計算。コマ単位での入札可能量が負の際に、売り入札量がゼロとなる場合もあるため、日次での売り入札量と入札可能量の合計値には差異が生じる。

※4 乖離率：需要見込みおよび需要実績の毎日の合計値より算出

(出典) 各社提出データより事務局作成